

## 岐阜県職員倫理憲章 情報科学芸術大学院大学実行計画

平成18年7月に発覚した不正資金問題に対する深い反省と再発防止への固い決意とともに、岐阜県職員としての基本理念を示すために平成18年12月28日に策定した「岐阜県職員倫理憲章」の内容を実践していくために、下記のとおり情報科学芸術大学院大学実行計画を定めます。

令和5年4月1日

### 1 法令を遵守するとともに、自らを厳しく律します。

- ・法令に照らして判断・行動し、疑惑や不信を招くことのないよう努めます。
- ・不当な圧力や働きかけに左右されることなく、誰にでも公平、公正に対応します。

(取組事項)

- 過去の不祥事案を題材に、職場研修を実施し、公務、私生活を問わず、「県民の信頼を裏切る行為」に対しては、厳しい処分が課されている現実について、職員の認識を深めます。
- 職務執行に対する不法・不当要求には、職員個人や担当窓口のみの対応に任せず、所属全体で対応するとともに、危機管理部門等関係部署との連絡を密にし、協働して対処に当たります。

### 2 税の重みを深く認識し、無駄のない行政を進めます。

- ・経費の節減を徹底し、最少の経費で最大の効果を挙げられるよう努めます。
- ・前例にとらわれず、常に業務を点検しながら見直しを図ります。

(取組事項)

- 備品及び消耗品の管理の徹底を図り、有効に活用に取り組みます。
- 職場内での日常業務の改善提案を募り事務合理化を進めるとともに、創意工夫に心がける環境づくりに努めます。

### 3 県職員としての自覚を高め、質の高い行政サービスを提供します。

- ・専門的な能力・知識と、幅広いものの見方・考え方の習得に努めます。
- ・法的根拠や仕組みを理解し、迅速・丁寧に業務を進めます。

(取組事項)

- 来校者・視察者等に対し、明るく丁寧に接客するとともに、本校の教育・研究活動をわかりやすく説明、紹介します。
- 日頃から情報教育、研究活動についてインターネット等で情報収集するとともに、それらについて職場内での情報共有に努めます。

#### 4 常に危機に備える意識を持ち、事故や不祥事を防止します。

- ・マニュアルを整備するなど、日頃からのチェック体制を確立します。
- ・どのような情報にも細心の注意を払い、組織としていち早く対応します。

(取組事項)

- あらゆる不測の事態発生時に迅速な情報伝達を図れるよう、緊急連絡網を作成し、適時、情報伝達訓練を行います。
- 危機管理に対する注意を払い、不祥事等の非常事態を察知し、上司への迅速な状況報告と適切な対応により問題発生を未然に防止します。

#### 5 問題発生時には、事実をありのままに公表し、迅速かつ誠実に対応します。

- ・正確な情報の把握・公表に努め、責任の所在を明確にした上で問題の拡大を防ぎます。
- ・徹底した原因究明を行い、適正な再発防止策を講じます。

(取組事項)

- 問題発生時には、緊急連絡網等の活用により30分以内で全職員への情報伝達を完了し、情報収集・分析や県民への情報提供を速やかに行います。
- 「岐阜県職員等公益通報制度」の運用に当たっては、通報者である職員等の保護と情報の適正な管理に万全を期すとともに、原則3ヶ月以内での迅速な調査・是正措置等により、問題の早期解決と再発防止に努めます。

#### 6 職員が一丸となって、風通しのよい組織風土をつくります。

- ・自分の職責にとらわれず、知恵を出し合い、自由な議論ができる職場をつくります。
- ・不都合な情報こそ速やかに包み隠さず明らかにできる組織をつくります。

(取組事項)

- 連絡会議や担当打ち合わせなどを週一回程度、全職員の会議を月一回程度実施し、業務の進捗状況等について職員間の情報共有を図るとともに、課題やその解決方法について協議します。
- よい情報はもとより、不都合な情報こそ上司への報告を速やかに行います。
- 管理職員は、定期的な職員面談を実施し、職員の日頃の考え方や悩み等の把握に努めるとともに、気軽に議論・意見具申できる雰囲気づくりに努めます。

#### 7 県民のひとりとして、積極的に地域や社会に貢献します。

- ・地域での活動に積極的に参加します。
- ・環境問題などの社会を取り巻く身近な課題に率先して取り組みます。

(取組事項)

- 地域活動に積極的に参加するとともに、それらを通して実感した「一人の県民としての目線」を日常業務に反映できるように努めます。

○学内諸活動と地域環境への関係、影響などについて認識を深め、適切で良好な住環境が確保されるよう特に努力します。

**8 県民との対話を大切に、県民とともに「確かな明日の見えるふるさと岐阜県づくり」に取り組めます。**

- ・県政全般にわたる情報をわかりやすく、積極的に公開します。
- ・積極的に現場に出かけ、県民の意見や考えをお聴きし、政策・施策に活かします。

(取組事項)

○ホームページやパブリシティを通して、I AMASの教育研究活動や学内ニュースなどの情報を県民の皆様に随時提供し、理解の促進と親近感の醸成に努めます。

○県民に直接ふれて、知っていただくため、各種イベントを通じ、県民の声や感想をいただきながら「開かれたI AMAS」を目指します。